

日本を代表するクルーズポート

横浜港と金沢港が

クルーズ連携協定を締結しました！



日本を代表するクルーズポート 横浜港と金沢港は、2019・2020年のクイーン・エリザベス横浜発着クルーズを始め、同一クルーズの寄港地となることがあり、相互に PR することが可能であることなどから、本日、横浜市長及び石川県知事との間で、クルーズ船の誘致等を目的とする連携協定を締結しました。

締結式概要

[日 時] 平成 30 年 11 月 16 日(金)
15:40~15:55

[締結者]

横浜市長
林 文子

石川県知事
谷本 正憲

【締結に際しての林市長によるコメント】

金沢港は日本海側、横浜港は太平洋側の、いずれも日本を代表するクルーズポートです。

このたびの協定締結により、両港が連携して客船の誘致や寄港地 PR を行っていくことで、クルーズを盛り上げていきたいと思っております。また、この盛り上がり全国の港に波及していくことを、大いに期待しています。

【協定書本文 別添】

お問合せ先

港湾局客船事業推進課長 林 総

Tel 045-671-7237

横浜港と金沢港との連携に関する協定書

横浜市と石川県は、クルーズ船の誘致促進、横浜港及び金沢港の発展に向け、両港の連携に関する協定を締結する。

両自治体は、クルーズ船の一層の誘致を図るため、下記の事項について連携して取り組むこととする。

1. 横浜港及び金沢港を発着港とするクルーズ航路の新規開拓及び両港へのラグジュアリークラス船の寄港数の増加を目指した、クルーズセミナー、船社の招へい、海外見本市への出展、船社訪問など、国内外船社、旅行代理店等に対する両港共同でのポートセールスの実施
2. 横浜港及び金沢港に寄港するクルーズ船の乗客に対する両港共同での寄港地観光PRの実施
3. その他両港のクルーズ船の誘致に資する活動の実施

この協定の締結を証するため、本書を2通作成し、各自1通を保有する。

平成30年11月16日

横浜港港湾管理者

横浜市長 林 文子

金沢港港湾管理者

石川県知事 谷本 正憲
